

5 通年議会について

【町田委員長】 事務局に説明を求める。

【議事係長】 通年議会の実施について、8月23日、9月15日、22日の本委員会において、協議が行われたが、9月22日の本委員会において、今期のうちに決定する点について、もう少し慎重であるべきとの意見などもあり、一旦委員長が引き取り、各委員にも一旦各会派に持ち帰っていただき、調査研究をしていただいた上で、本日の本委員会で再度協議することとなったものである。

【町田委員長】 説明のとおりである。これまでの議論を振り返ると、9月22日の本委員会では、日本共産党から市民にも御理解いただく期間が必要で、導入時期についてはもう少し議論の余地があるのではないかと意見があった。公明党からは、導入した自治体の事例を視察することも含めてもう少し研究が必要や、来期早々に検討委員会を立ち上げることにしてはどうかとの意見があった。また、自由民主党からは引き続きの検討が必要との意見があった。これとは別に、大和正風会からは導入後に元に戻した議会も多々あるということで、そのような事例についても研究すべきとの意見があった。

事務局に説明させたとおり、通年議会の実施については一旦引き取らせてもらい、各会派には調査研究を引き続きお願いするというので前回の協議は終わっている。この間、持ち帰って調査研究された中で発言のある会派はあるか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

【町田委員長】 本件は、一旦引き取らせてもらい、各会派からの意見も踏まえ、議長とも調整した結果、再提案として「通年議会の実施については、通年議会自体に反対する会派はないものの、今期のうちに来期から通年議会を始めることを決定することについては意見が一致しないため、他の議会改革案と同様に、来期の早い時期からその施行を検討することを申し送る」ことを提案したいが、それでよいか。

全 員 了 承

【町田委員長】 それでは、そのように決定する。

【中村議長】 委員長から説明をしていただいたとおり、本件は重要なことであり、全会一致が望ましいので今回はそのようにしたい。私の思いとしては、非常に残念である。

前期にも同じようなことがあり、次期にとなったことだったが、今期はコロナのこともあり、公の場所で話ができなかった。ただ、考える時間は十分あったと思っている。今回、来期ということになったが、4年後の今頃、また同じ話をしていることがないように、来期は早いうちからこの議論を進めていただくよう皆様をお願いしたい。

【赤嶺委員】 通年議会の協議は、本委員会で行われないのか。

【町田委員長】 今任期中は行われないということである。赤嶺委員からも再三言われたとおり、今回扱われた議論や資料がまた真っさらの中で話し合うことになるので、堂々巡りになってしまうので、次期にしっかり申し送った上で、議論を進めていきたいと思うので、よろしく願います。

【赤嶺委員】 資料や視察も重要だが、最も重要なのは、本市議会にあった通年議会とはどのようなものかを協議して結論を出すことだと思う。

【町田委員長】 その点も含めて申し送りたい。それでは、本件については所属会派の議員への周知をお願いします。